

《 巻末特集 その1 》 「新製品・新技術マッチングモデル事業」

県土整備部の発注工事において、現場で抱えている課題を解決するため、県内企業等から新製品・新技術を募集し、実際に現場で施工して評価を行うモデル事業です。

これにより、県内の優れた製品や技術を見出し、今後の公共事業等における活用機会の拡大を図るとともに、県内建設業者等の育成と県産品の利用促進を図ります。



新製品・新技術マッチングモデル事業には、2つの事業があります。

① 発注者提案型モデル事業

- ・発注者が設定した課題に対する新製品・新技術を募集するもの

② 応募者提案型モデル事業



- ・県内企業から新製品・新技術の活用提案を募集し、試験フィールドを提供するもの


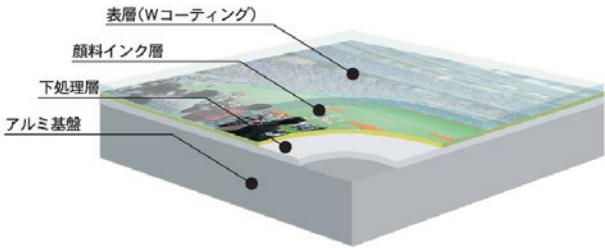
応募された製品・技術は、新製品・新技術評価委員会（学識経験者を含めた第三者機関）にて、選定を行います。


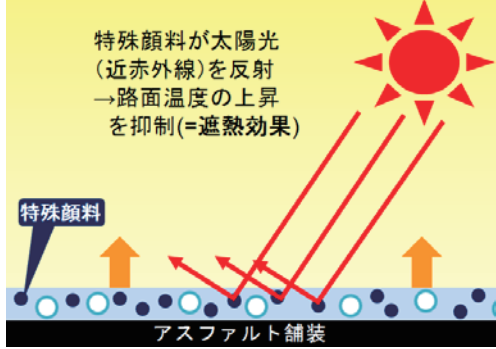
選定された製品・技術は、モデル事業として試験施工を行い、その効果を新製品・新技術評価委員会にて評価・効果検証を行い、検証結果については、次の建設管理課のホームページにて公表しています。

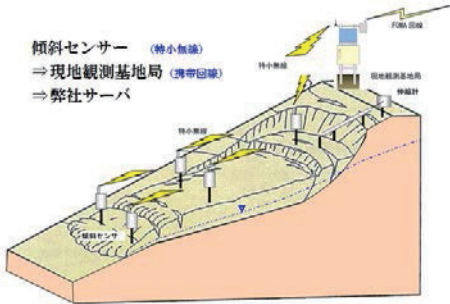
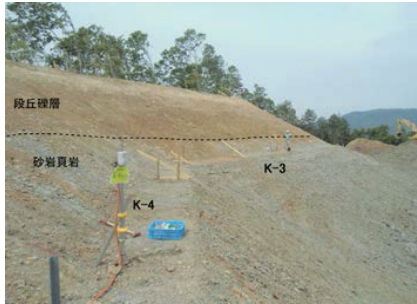
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/matching-top.html>


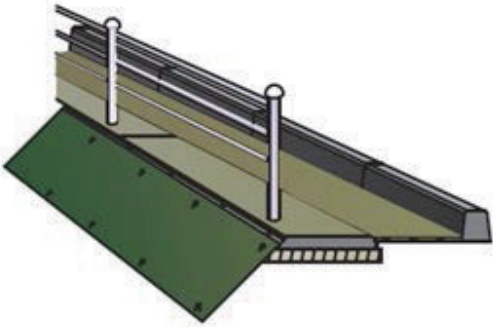
平成29年8月、11月に評価を受けた製品・技術を次頁以降に掲載いたします。

提案別	発注者提案型	企業名 問合せ先	技研興業株式会社 TEL 03-3398-8507
応募年度	H21	製品・技術名	多自然型積みブロック 緑彩
提 案 概 要			
<p>ブロック正面の隙間や内部に中詰材を投入する空間をもち、胴込に石材を使用することにより魚巣としての機能が期待できる。植物、魚類、水生昆虫等の育成の場を提供し、緑豊かな植生、生物に優しい環境を創出できる。</p>			
			
試験箇所	越谷県土整備事務所／一級河川会之堀川（春日部市）		
事後評価 概要	地元住民の要望に合った護岸となり、コンクリート護岸と比べると景観が向上するなど、本製品は有効であると判断する。		

提案別	発注者提案型	企業名 問合せ先	有限会社歴史環境研究所 TEL 0480-92-2812
応募年度	H21	製品・技術名	園内サインの長寿命化 ハイブリットカラー印刷
提 案 概 要			
<p>電子線硬化型樹脂コーティングにより、耐紫外線、耐水に対し優れた効果を発揮し、スプレーや油性マジックなども中性洗剤などで容易に洗浄可能であり防汚性に優れる。また、煙草やライターで炙っても溶けることはなく、耐火性にも優れる。</p>			
		<p>【製品仕様】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤／アルミ圧延板(2.0mm厚) ・ 表層／アクリル樹脂塗装 (電子線硬化型樹脂塗装) 	
試験箇所	杉戸県土整備事務所／権現堂公園（久喜市）		
事後評価 概要	経年劣化による錆、ひび割れ、色あせ、汚れ等が見られないなど、本製品は有効であると判断する。		

提案別	応募者提案型	企業名 問合せ先	シンレキ工業株式会社 TEL 048-523-6611
応募年度	H25	製品・技術名	遮熱性カラー舗装 クールハクト
提案概要			
<p>舗装の熱源となる太陽光のうち最も吸収されやすい近赤外線を特殊な顔料により高反射し、舗装体の蓄熱量を減らすことにより路面温度の上昇を抑制する。</p>			
			
試験箇所	熊谷県土整備事務所／熊谷スポーツ文化公園（熊谷市）		
事後評価概要	安全性、施工性については、従来の工法と変わりなく他の現場でも活用することができる。路面の遮熱効果が有効に機能しているなど、本製品は有効であると判断する。		

提案別	応募者提案型	企業名 問合せ先	中央開発株式会社 TEL 03-3208-3111
応募年度	H25	製品・技術名	斜面崩壊検知センサー 感太郎
提案概要			
<p>省電力MEMS傾斜センサー、土壌水分計、内蔵無線端末を利用した技術であり、多数設置における自動連続監視により斜面を面的に把握でき、斜面傾斜変動の計測を行う。土壌水分との相互照合により検知精度が向上する。</p>			
			
試験箇所	西関東連絡道路建設事務所／一般国道140号皆野秩父BP（秩父市）		
事後評価概要	地形地質が異なる条件下においても設置可能であり、設置・撤去も迅速に行うことができる。観測データも概ね正常に観測でき、法面の状況をリアルタイムに把握できる有効なシステムであり、本製品は有効であると判断する。		

提案別	応募者提案型	企業名 問合せ先	共栄建材工業株式会社 TEL 0480-48-7401
応募年度	H26	製品・技術名	法面保護ブロック ロードキーパー
提 案 概 要			
<p>路肩部にコンクリートブロック及び防草シートを設置することにより、法面保護や防草対策を行う。</p>			
			
試験箇所	杉戸県土整備事務所／主要地方道松伏春日部関宿線（幸手市）		
事後評価 概要	安全性、施工性については、他の現場でも活用でき、試験施工の現場においては施工時から防草効果が維持されているなど、本製品は有効であると判断する。		

提案別	応募者提案型	企業名 問合せ先	株式会社川金コアテック TEL 048-259-1113
応募年度	H29	製品・技術名	高欄用アンカーボルトの長寿命化 Al-Mg 溶射仕様
提 案 概 要			
<p>高欄用アンカーボルトにアルミニウム-マグネシウム溶射を施すことにより、耐久性に優れた防食性能を発揮させる。アルミニウムは不動態層を形成し、特に塩分に強い優れた防食層となる。また、マグネシウムは被膜が傷つくとその化合物が傷を塞ぐ自己修復効果がある。</p>			
			
事後評価 概要	従来の工法に比べて優れた防食効果が期待できることから、有効であると判断する。		

《 巻末特集 その2 》 「建設資材県産品利用向上促進事業」

県産品の利用については、「埼玉県中小企業振興基本条例」において県の責務となっています。

また、「埼玉県5か年計画」の取組の一つとして「公共事業における県産品の利用推進」を挙げています。

これらを踏まえ、建設管理課では建設資材県産品の利用向上促進事業として、以下の取組を行っています。

● 埼玉県建設資材県産品製造会社紹介制度

県内に本社（本店）、工場がある土木・建築・設備工事関連の建設資材県産品製造会社を建設管理課のホームページで紹介しています。

彩の国さいたま県産品【製造会社】 株式会社

企業情報

会社名	株式会社	
本社・本店	所在地	〒343- 埼玉県越谷市
	電話番号	048
	ファックス番号	048
	E-mail	
	URL	
	連絡担当者	
	連絡先	

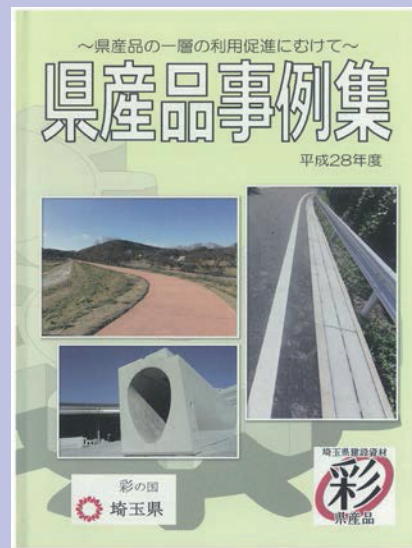
	製造品名	規格	製造工場
県産品	粒調砕石	M30	工場1
	砕石	C40	
		20-05 20-5mm	

※詳細につきましては、連絡担当者へ直接お問い合わせ下さい。

工場1	工場名	
	所在地	〒
	電話番号	
	ファックス番号	
	E-mail	
	URL	

● 県産品事例集

公共工事等において「県産品」を利用した事例を掲載した冊子を発行しております。



● 県産品シンボルマーク

県産品を広くアピールするため、シンボルマークを定め、建設資材製造会社に付与しています。



●新製品・新技術紹介制度

建設工事のコスト縮減、品質向上、環境負荷軽減などに適応した新製品・新技術の開発を普及、促進、活用を図るため建設管理課のホームページで紹介しています。

新製品・新技術紹介制度 資料(1/2) 概要 効果等		新製品・新技術紹介制度 資料(2/2) 施工実績 写真等	
<p>新製品・新技術紹介制度</p> <p>目的：建設工事の品質向上、コスト削減、環境負荷軽減などに適応した新製品・新技術の開発を普及、促進、活用を図るため建設管理課のホームページで紹介する。</p> <p>対象：建設工事の品質向上、コスト削減、環境負荷軽減などに適応した新製品・新技術の開発。</p> <p>実施期間：2002年～</p> <p>実施回数：2回</p> <p>実施内容：新製品・新技術の紹介、施工実績の紹介、効果等の紹介。</p> <p>効果等：コスト削減、品質向上、環境負荷軽減。</p>	<p>新製品・新技術紹介制度 資料(2/2) 施工実績 写真等</p> <p>新製品・新技術の施工実績を紹介する写真等。</p> <p>写真等：建設工事の現場写真、新製品・新技術の施工状況写真。</p>		

●新製品・新技術発表会

県内の企業が開発した建設工事に係る新製品・新技術をプレゼンテーション形式で発表を行うものです。県産品フェアと同時に開催しています。



●埼玉県建設資材県産品フェア

建設工事に使用する資材を製造している県内の企業や団体が協力して、自社の製品や新工法の魅力をアピールする、年に一度の展示会です。



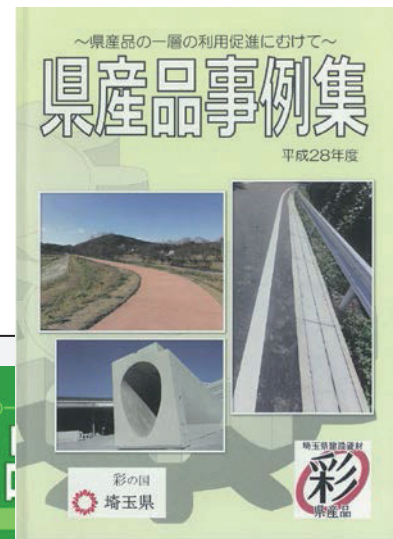
《 卷末特集 その3 》 「県産品事例集バックナンバー」

県産品事例集は、平成11年度から発行しています。平成16年度からは県産品製造会社名が入った事例集を発行しております。

県産品事例集のバックナンバーは、建設管理課のホームページでご覧いただけます。

建設管理課ホームページ

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/kensanhin-top.html#jirei>



《 巻末特集 その4 》 「県産品シンボルマーク」

埼玉県では、埼玉県産の建設資材を広くアピールするために下記のシンボルマークを定めています。



<平成 25 年 2 月制定>

- シンボルマークは、製造会社の建設資材やパンフレット、名刺等へ貼付けます。
- シンボルマークには、製造会社名や工場住所等を記載し、一目で県産品であることがわかります。
- シンボルマークの使用は、30社に承認されています（平成30年2月現在）。
- シンボルマークの使用承認申請については、下記の建設管理課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/kensanhin-mark-shinsei.html>

平成30年3月発行

埼玉県 県土整備部 建設管理課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 : 048-830-5201

E-mail : a5190-02@pref.saitama.lg.jp

この冊子は再生紙を使用しています。